

そう だい
総 題 「ダニエル書—主イエス・キリストの愛と品性の啓示—」

だいじゅうさん か ちり ほし
第 13 課 塵から星へ

リュウ ジョンヒョン
柳 鍾 鉉

いち あんそくにち ご
1. 安息日午後

わたし こんき しょ とお くなん しれん なか かみ たい しんじつ しんこう も い
私たちは今期ダニエル書を通して、どんな苦難や試練の中にあっても神に対する真実な信仰を持って生きると
かみ ひとびと まも たす すく だ てん いのち しょ か しる おおぞら ほし かがや
きに、神はその人々を守り、助け、救い出して天の命の書に書き記し、大空の星のように輝かせてくださるこ
まな
とを学びました。ダニエルはバビロンという異国の地で信仰を持って忠実に生きられたことによって、神から多
しゆくふく う しゅうまつじだい かみ たみ しんこう おな しれん くなん ちよくめん
くの祝福を受けました。終末時代の神の民も信仰のゆえに同じような試練と苦難に直面しますが、ダニエル
かみ ちゅうじつ しんこう も い かがや しょうり え
のように神に忠実であり、また信仰を持って生きるならば輝かしい勝利を得ることができます。

に にちようび わたし きみ
2. 日曜日：私たちの君ミカエル

しょ いきょう くに せいりよく かみ えら たみ くる はくがい み
ダニエル書は異教の国であるバビロンの勢力によって神の選ばれた民が苦しめられ、迫害されるように見え
かみ じぶん たみ いきょう くに ほろ だいてん しちょう つか かみ
ますが、神はご自分の民が異教の国によって滅ぼされるままにされず、大天使長であるミカエルを遣わして神の
たみ まも みちび ぐんじてき しきかん やくわり は だいてん しちょう せいしよ ひと
民を守り導く軍事的な指揮官としての役割を果たさせていただきます。大天使長であるミカエルは聖書に人の
こ ばんぐん ちょう あぶらそそ きみ われ すく ぬし
子、万軍の長、油注がれた君としてあらわされる我らの救い主であるイエス・キリストです。

さん げつようび しょ しる
3. 月曜日：あの書に記された

ち じゅうみん おお さいご なや な ぜんせかい むかし おそ おそ
サタンは、地の住民を大いなる最後の悩みに投げられ、全世界は昔のエルサレムを襲ったものよりもっと恐ろ
はめつ ま こ かこく じき かみ たみ すく だ
しい破滅に巻き込まれます。しかし、そのような過酷な時期に神の民はミカエルによって救い出されます。なぜなら
かれ なまえ てん いのち しょ か しる てん だいさいし くれ ただ りっしょう
彼らの名前がすでに天の命の書に書き記されており、天の大祭司であるイエスによって彼らの正しさを立証さ
てん ほうてい まえ いのち しょ にんげん こうい きろく しょ ふた しょ お
れたからです。天の法廷の前には「命の書」と「人間の行為が記録されている書」これらの二つの書が置かれて
います。

よん かようび ふっかつ
4. 火曜日：復活

しょ ぎじん ふっかつ めいかく しる つち ちり かたちづく ひと かみ いのち いき ふ い
ダニエル書は、義人の復活について明確に記しています。土の塵で形作られた人は神の命の息が吹き入れ
はじ い ひと さいしよ ひと つみ おか つち ちり かせ
られ、始めて生きる人となりました。しかし、最初の人であるアダムとエバが罪を犯したことによって土の塵に帰
つみ しはら ほうしゅう し ぜんせかい しはい しき かみ
るようになったのです。それは罪の支払う報酬である死が全世界を支配していることを示唆します。ところが、神
しゅ とお し くさり た き はか ふっかつ し う か わたし
は主イエス・キリストを通して死の鎖を断ち切り、墓から復活されて死に打ち勝ちました。私たちはキリストを

しん しんこう ふっかつ あず わたし ほし えいえん かがや ちり ち
信じるその信仰によって復活に預かることができます。私 たちは星のように永遠に輝くために、塵の地の
なか お あ
中から起き上がるのです。

5. 水曜日：封じられた書

よ お よげん しよ よ お とき ふう よ お はじ
世の終わりまで預言されているダニエル書は世の終わりの時まで封じられていましたが、世の終わりの始まりで
ある1798（せんななひやくきゅうじゅうはち）年以來、ダニエル書は封を開かれ、その預言が正しく理解される
ようになりました。ダニエル書はヨハネの黙示録と共に世の終わりを告げる預言書として世の終わりに住んでいる
ひとひと おお かた じゅうきゅうせい き さいいんうんどう お はじ おお
人々に大きく語られているのです。19世紀に再臨運動を起こしたウィリアム・ミラーたちを始め、多くの
ひとひと しよ もくしろく けんきゅう しゅ さいいん の つた
人々がダニエル書や黙示録を研究することによって主の再臨を宣べ伝えました。

6. 木曜日：待ち時間

しよ じゅうよう よげん きかん しる たと
ダニエル書にはいくつかの重要な預言の期間が記されています。例えば、1260（せんにひやくろくじゅう）
にち 1290（せんにひやくきゅうじゅう）にち 日、1335（せんさんびやくさんじゅうご）にち 日、
2300（にせんさんびやく）にち よげん けいさんほうそく いちにち いちねん よげん きかん
日などです。預言の計算法則によって1日は1年であるので、預言の期間はさらに
なが よげんてき きかん すべ ちい つの きょうこうけん かみ ちゅうじつ たみ かんけい
長くなります。この預言的な期間は全て小さな角であるローマ教皇権と神の忠実な民と関係しています。サ
タンはその時代の一歩強い権力を用いて神に対する忠実な信仰を持っている神の民を滅ぼそうとしました。
はくがい かみ たみ じぶん すく とき ま のこ かみ たみ とくちょう
迫害される神の民は自分たちが救われるその時を待たなければならなかったのです。残りの神の民の特徴は
にんたい もくしろくじゅうよんしょうじゅうにせつ しる
忍耐であると黙示録14章12節に記されています。

7. 金曜日：さらなる研究

ふう ちい まきもの しよ お じだい かんぜん ひら しよじゅうに よん
封じられた小さな巻物であるダニエル書は終わりの時代に完全に開かれています。ダニエル書12：4にある
ように「多くの者は、あちこちと探り調べ、そして知識が増すでしょう」と預言者は言っています。ダニエル書を
ただ よ りかい えいえん いのち たいせつ よげん しよ よ まも もの しゅ やくそくどお
正しく読み理解することは永遠の命につながる大切なことです。この預言の書を読み守る者は主の約束通りに
おおぞら ほし かがや じんせい
大空の星のように輝く人生となるのです。